

本の修理 きほんのき

その1 本のなりたち

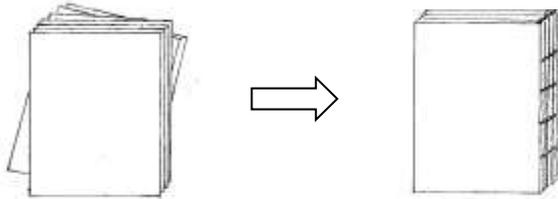
基本的な構造 修理⇒本の機能を回復すること
構造を知らずに修理はできない

①本体(中身)

情報が書かれた
バラバラの紙・折り丁

ひとまとめにする
= 綴じ・かがり

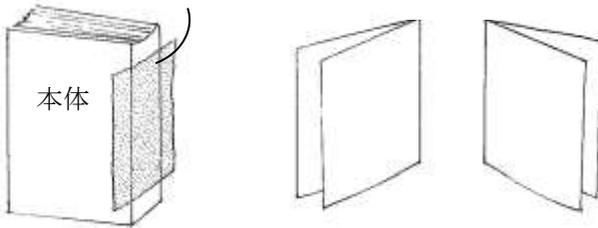
+



②つなぎ部分

寒冷紗(かんれいしゃ) 見返し(表・裏)

+



③表紙(外側)

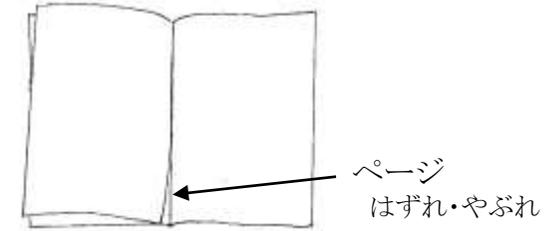
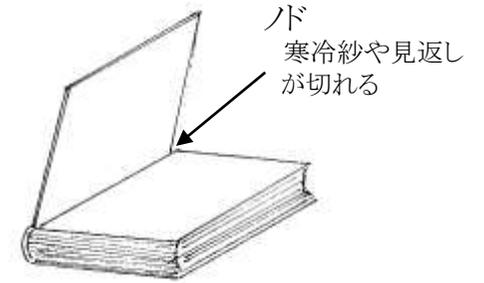
本体と表紙の
間に入る



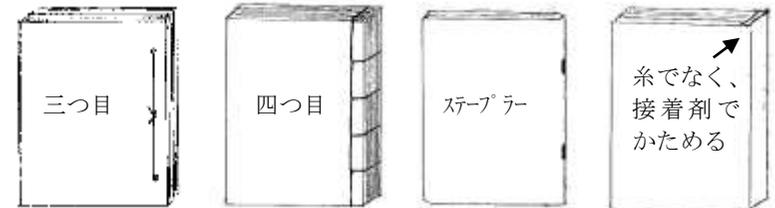
=



動くところ = 壊れやすい = つなぎめ



綴じ方いろいろ



平綴じ

和綴じ

針金綴じ

無線綴じ

